

尻啖え孫市（しりくらえまごいち）（1969）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 105分

初公開日 1969/09/13

【解説】

司馬遼太郎の同名小説を菊島隆三が脚色し三隅研次が監督。撮影は宮川一夫、音楽は佐藤勝が担当した。日本最強の鉄砲集団を率いた雑賀孫市の半生を描く。

織田信長が治める岐阜の城下町に、日本最強の鉄砲集団・雑賀衆の頭目である雑賀孫市が現れる。噂を聞きつけた信長は木下藤吉郎に孫市の素性を探らせ、彼が京で見初めた女を捜すために来たことを知る。信長と藤吉郎にだまされ浅井長政との戦に参加させられた孫市は、わずか五人の手勢で短時間に城を攻め落とすことに成功。しかし自分がだまされたことを知り、信長と袂を分かつことを決意する。やがて彼は堺で運命の女性と再会するが、彼女は信長の敵である本願寺の信徒だった。

【クレジット】

監督 三隅研次

製作 永田雅一 [製作]

原作 司馬遼太郎

脚本 菊島隆三 Kikushima Ryuzou

撮影 宮川一夫

美術 西岡善信

編集 谷口登司夫

音楽 佐藤勝

助監督 中西忠三

出演 中村錦之助

雑賀孫市

栗原小巻

小みち

本郷功次郎

法専坊信照

中村賀津雄

木下藤吉郎

志村喬

雑賀左太夫

勝新太郎

織田信長